

夫の死 気持ち整理できず

最上 節子 78
(空知管内新十津川町)

二人が別れたのはあなたが83歳、私は76歳のお盆も終わった暑い日でした。

あの日何の迷いもなく手術室へ入って行き、終わった時に医師から「子どもたちにも連絡を取るように」と言われ、何が起きたのか動転するばかりでした。

必ず元気になると信じていたのに、「まさか」の坂はあるのですね。麻酔から覚めることなく逝ってしまいました。体のぬくもりがだんだんと薄れていき、涙が枯れるまで泣き明かしました。

あなたは歌が好きで北島三郎を歌っては場を和ませてくれました。もう一度あなたの声を聞きたい。教えてほしいことも数多くあったのに先立たれて2年たっても気持ちの整理ができないでいます。いなくなっただけで分かったあなたのありがたさ。会社勤めの頃から何事にも努力を惜しまない人でした。苦勞も多かったですでしょう。何も分からない私がここまですて来られたことに感謝しています。

私のことは心配しないで。周りの方に助けてもらいながら頑張っていけます。